

授業科目 相談援助各論 III

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：GI0】 相談援助における対象を把握する。 相談援助の方法を理解する。 相談援助の内容を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 相談援助の対象を実践的に理把握する。 ケアマネジメントを理解する。 グループを活用した相談援助を理解する。 コーディネーションとネットワーキングを理解する。 相談援助における社会資源について把握する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				講義による学習（以下、同じ）
2	相談援助の対象の概念と範囲				
3	個人と家族の理解				
4	グループについての理解				
5	地域社会についての理解				
6	ケアマネジメントの意義				
7	ケアマネジメントの方法				
8	グループを活用した相談援助				
9	コーディネーションの意義				
10	コーディネーションの方法				
11	ネットワーキングの意義				
12	ネットワーキングの方法				
13	相談援助における社会資源の活用				
14	ソーシャルアクション				
15	まとめ				
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 教科書 (必ず購入する書籍) 新・社会福祉士養成講座 8 相談援助 白澤政和、福山和女、米本秀仁 中央法規出版 2015・2,808円 の理論と方法 II 参考書 その他の資料			
【評価方法】 期末試験またはレポートによって評価する（80点）。出席状況によって評価する（20点）。		【履修上の留意点】 教科書を個々に読了すること。			